

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 9 月 30 日

計画の名称	笠松町における循環のみちの実現			
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	笠松町	
計画の目標				

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道処理人口普及率83%（H21末）から91%（H27）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	備考
	83%	88%	91%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	687.9百万円	A	619.5百万円	B	- 百万円	C	68.4百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	9.9%
-------	---------------	----------	---	----------	---	-------	---	---------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
笠松町建設水道部水道課にて評価を実施	平成28年8月
	公表の方法
	笠松町公式ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A1-1-1	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	松枝処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=8.23km、A=53.4ha	笠松町						221.8	
A1-1-2	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	笠松南処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.09km、A=0.3ha	笠松町						3.8	
A1-1-3	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	笠松北処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.08km、A=0.4ha	笠松町						0.0	
A1-1-4	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	金池処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.66km、A=4.1ha	笠松町						15.3	
A1-1-5	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	円城寺処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=1.59km、A=15.2ha	笠松町						108.7	
A1-1-6	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	下羽栗処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=3.95km、A=22.4ha	笠松町						187.0	
A1-1-7	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	米野処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.54km、A=2.1ha	笠松町						39.6	
A1-1-8	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	北門間汚水幹線（未普及解消）	φ300mm、L=0.28km、A=1.6ha	笠松町						0.0	
A1-1-9	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	北及汚水幹線（未普及解消）	φ250mm、L=0.28km、A=1.7ha	笠松町						0.0	
A1-1-10	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	下門間汚水幹線（未普及解消）	φ250mm、L=0.01km、A=0.1ha	笠松町						0.0	
A1-1-11	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町		全種	効率的な事業実施のための検討	検討資料作成 一式	笠松町						43.3	
小計（下水道事業）											619.5						
合計											619.5						

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
C-1-1	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	松枝処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=2.0km、A=13.3ha	笠松町						22.0	
C-1-2	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	笠松南処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.02km、A=0.1ha	笠松町						1.4	
C-1-3	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	笠松北処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.02km、A=0.1ha	笠松町						0.0	
C-1-4	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	金池処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.16km、A=1.0ha	笠松町						2.2	
C-1-5	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	円城寺処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.40km、A=3.7ha	笠松町						4.1	
C-1-6	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	下羽栗処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.99km、A=5.5ha	笠松町						25.3	
C-1-7	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	米野処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.13km、A=0.5ha	笠松町						13.4	
											合計	68.4				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C-1-1	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															
C-1-2	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															
C-1-3	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															
C-1-4	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															
C-1-5	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															
C-1-6	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															
C-1-7	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		下水道管渠整備を実施したことにより、下水道処理人口普及率が増加し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与することができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	91.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	人口の増加が見込める市街化区域を優先的に整備を進めたが、人口が予測値を下回ったため、目標値は未達成となった。今後は人口減少等の社会状況を踏まえ、下水道の整備が必要となる区域を適切に設定し、事業を進めていく。
		最終実績値	86.1%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
今後の未普及解消にあたっては、下水道利用の意向調査を住民に行った結果を踏まえ、接続時期や家屋間限界距離を満たした家屋のみ、下水道整備を行うことにより、費用対効果を高めた効率的かつ効果的な整備を進める。					